

図-2.4.10.2 ホンダワラ藻場の年度別分布状況

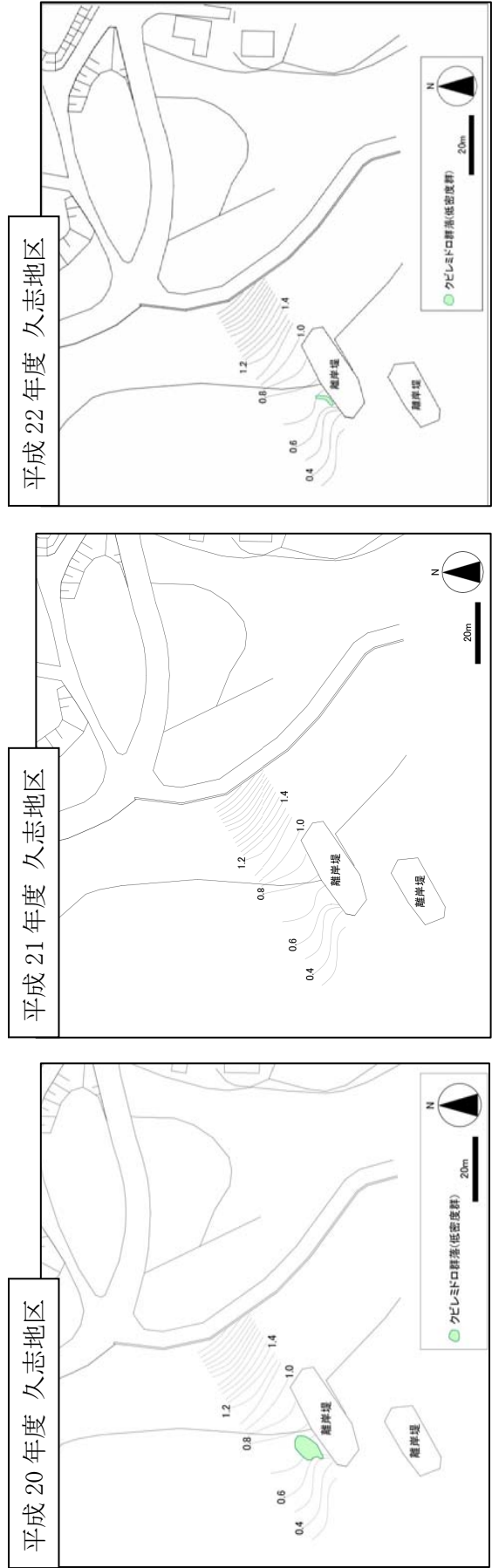
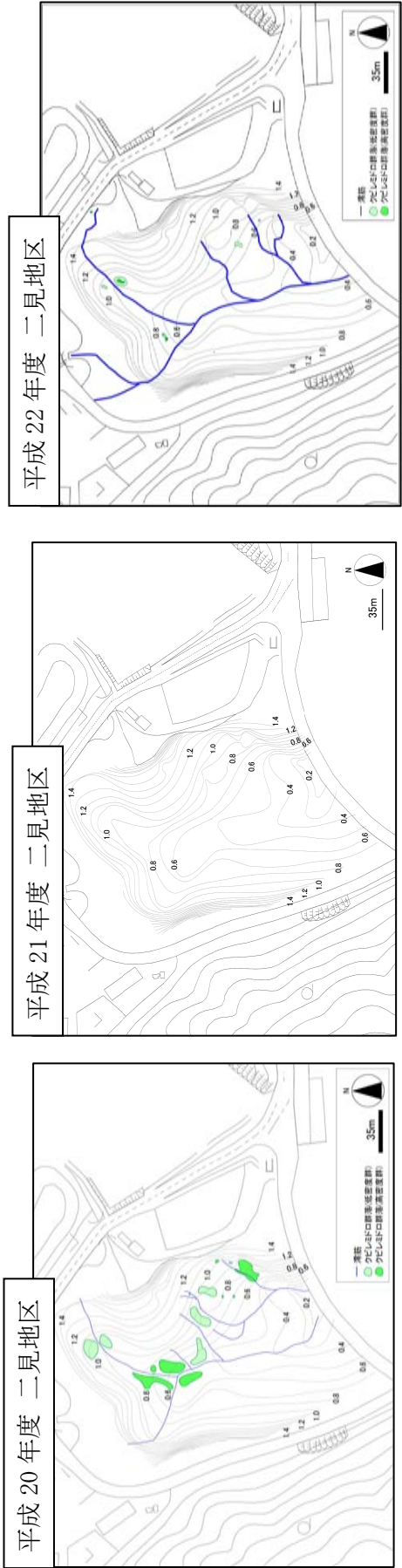
(3) 注目すべき種の分布、生育環境の状況調査

平成 20 年度春季にクビレミドロを対象として、嘉陽～安部地先、汀間～二見地先、キャンプ・シュワブ～辺野古地先、久志～潟原地先を踏査してクビレミドロが生育するかどうかを探査しました。

その結果、二見地先及び久志地先において群落の生育が認められました。この結果を踏まえ、それぞれの地域で詳細に分布状況を記録しました。平成 20 年度から平成 23 年度までのクビレミドロの分布は図-2.4.10.3に示すような状況でした。

二見地区では、年によって群落の粗密の度合いが変化しているものの、分布範囲（中央の滞筋に沿って分布）はほぼ同様でした。

久志地区では、石積み突堤の岸側に、小規模かつ低密度の群落が分布しています。



注) 平成21年度は、分布密度が低く、図に広がりとして表せていませんが、2地区ともに生育を確認しています。

図-2.4.10.3 海藻草類調査 クレミドロの年度別分布 (上段：二見地区 下段：久志地区)